

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	令和 7 年度瑞穂町子ども・子育て会議（第 7 回）	
開 催 日 時	令和 7 年 1 月 30 日（木）午後 6 時 30 分から午後 8 時 00 分まで	
出席者及び 欠 席 者	【出席者】 委員 10 名、事務局 3 名、関連部署職員 7 名、コンサルタント 2 名、合計 22 名 【欠席者】 2 名	
次 第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 題 （１）瑞穂町子ども計画素案について （２）素案に対する意見募集状況及び意見の反映について 4 その他 5 閉 会	
傍 聴 者	2 名	
配 布 資 料	当日配布 ・ 次第 ・ 【資料 2】 瑞穂町子ども計画（概要版） ・ 【資料 3】 瑞穂町子ども・若者の生活実態調査報告書 事前配布 ・ 【資料 1】 瑞穂町子ども計画（素案）	
会 議 内 容 （主な意見 等を原則と して発言順 に記載。）	1 開 会 （会長） 2 あいさつ （会長）	本日の出席委員は 10 名。瑞穂町子ども・子育て会議条例第 7 条の規定に基づき、半数以上の委員の出席により、会議は成立となるのでこれより開催する。 改めましてこんばんは。先日、正月を迎え、今年はいい年になりますようにとか、物価がこれ以上、上がらないようになど、色々な事を考えて過ごしていたが、ふと気が付けば、1 月も残り 2 日となっていた。月日が経つのが早いと感じながら過ごしており、今回の子ども・子育て会議も第 7 回、全体として 8 回を予定している中では残すところ今日を含めてあと 2 回となった。マラソンで言うならば 40 キロ地点で、ゴールがだいぶ見えてきたというところだと思う。一番大事な時期だと思うので委員の皆さんから忌憚のないご意見をいただきたい。また、子ども計画の概要版の中に「やさしい版」というのがあり、本当に面白く、画期的だと感じ、色々な意見が出るといいなと思っている。

		それでは、3 議題（１）瑞穂町子ども計画素案について事務局から説明をお願いしたい。
	3 議題 (事務局)	(１) 瑞穂町子ども計画素案について ※(資料１)『瑞穂町子ども計画(素案)』、(資料２)『瑞穂町子ども計画(概要版)』、(資料３)『瑞穂町子ども・若者の生活実態調査報告書』を用いて説明を行う。
	(事務局)	前回の会議でいただいた質問や意見に対すると ころを中心に説明させていただき、その後、事前質問に対する回答をさせていただきたいと考えている。 素案 48 ページの No. 1、「子どもの権利救済機関との連携」について、前回までは「子どもの権利救済機関の設置・運営」となっていたため、運営をしていくのかという意見が出ていた。新たに機関を設置することではなく、既存の取組を引き続き継続すること、関係機関と連携していくこと等を考えているという説明をさせていただいたので、タイトルは「子どもの権利救済機関との連携」に変更し、担当部署は子育て応援課、子ども家庭センター課を掲載し、関係各課にも相談がある可能性があるので表記をさせていただいた。 56 ページの No. 1、「若者のフリースペースの提供」について、前回までは「子ども・若者支援センター」という表記があったが、現時点では設置の検討をしていないことから「子ども・若者支援センター」の文言は削除した。ただし、居場所の提供の検討はすべきだということでその文言は残している。また近隣市だと例えば「児童青少年係」のような若者の担当部署があったりするが、瑞穂町にはそのような部署はないので、担当部署は子育て応援課、関係各課とさせていただいた。 62 ページの No. 3、「小地域区分に基づく地域福祉活動の推進」について、社会福祉協議会が主に開催をしている、地域ささえあい連絡協議会に関する

	記載があるため、社会福祉協議会と記載していたが、協議の結果、子育て応援課、子ども家庭センター課、関係各課と変更させていただいた。 68 ページ、「公園・緑地の環境整備」について、前回の会議でインクルーシブ遊具の意見が出ていた。担当の建設課に確認したところ、インクルーシブ遊具については設置の検討をしているという回答をもらった。ただ、通常の遊具より、かなり高額であり、予算確保の問題もあるため、すぐに掲載することは難しいということで「誰でも利用しやすい」という表現に含ませるような形で記載させていただいた。 93 ページ、子ども計画に放課後子どもプランを内包して作成するとなっているので、4 放課後児童対策の推進に向けた目標量の設定ということで、表などを掲載させていただいたことを報告したい。 あわせて、19 ページ、⑥と⑦の間に、現在の放課後子ども教室の状況、教室名称、小学校名、連携型、校内交流型、登録者数などの表を追記することを検討している。 次に事前にいただいた質問を紹介し、担当課より回答させていただきたいと思う。質問は3件いただいた。 まず20 ページ、(2) 妊婦健康診査等の状況の説明文の2段落目、「令和5年度から受診率の向上に向け、実施方法の変更に取り組みました」とあるがどのような変更をしたのかという質問。 次に22 ページ、「乳幼児健康診査の推移」に受診者数と受診率が掲載されているが、受診率が100%を超えている理由は何か。また、100%を超えている理由があるならば、表の下に注意書きを付けた方がわかりやすいのではないかという意見。 26 ページ、児童虐待の状況について、相談件数の表記が瑞穂町と都で異なっているので、瑞穂町も種別ごとに掲載できるのであれば比較もしやすいと思うので掲載してはどうかという意見。質問に対する回答を子ども家庭センター課長からお願いした
--	--

	(関連部署職員)	い。 1 点目、20 ページの（２）について、健診には大きく分けて集団健診検診と個別健診があり、集団検診は、指定日に保健センターに集まり一度に健診を行っており、個別健診は町指定の歯医者好きな時間に行き受けるというもの。これまでは集団健診で行っていたものを、個別健診に切り替えたことで、利用者が健診に行きやすくなり、数字的にも改善されていると考えている。 2 点目、22 ページ（５）について、令和元年度に受けるべき対象者の全員が受けていたとして、さらに前年度に受けられなかった人が令和元年度に受けると、母数が変わらずに受診者が増えるので 100%を超えてしまい、このような現象が起きている。ご指摘のとおり、表の下に※印などで説明を入れたいと思う。 3 点目、26 ページ、児童虐待の連絡件数について。ご指摘のとおり、都の表は 4 種類で区分けされており、瑞穂町の表は区分けされていない。瑞穂町の表も 4 種類で区分することは可能なので都の表記に合わせる形で掲載したいと思う。
	(委員)	歯科健診の質問をしたのは私で、個別で健診をやってもらえたのですごく助かった。保健センターだと時間も限定されてしまい、仕事も休まないといけな状況だったので、自身が通っている歯医者で受けられるようになり良かった。
	(委員)	概要版の 6 ページ、一番下に「計画書本編をご参照ください」と記載されているが、本編の何ページなのかが記載されているとわかりやすいだろう。
	(事務局)	記載していく。
	(会長)	概要版の 8 ページ構成のものと、4 ページ構成のもの、やさしい版とあるが、使い分けを教えていた

		だきたい。 (事務局) 今回の計画ではターゲットが広がったこともあり、例えばこの８ページの概要版だと少し長いなと思う方でも、４ページの概要版であれば見ることができるなど、誰もが見やすくなるように３パターン作成したいと考えている。特に誰向けというより、いろんな方に見ていただけるよう考えている。現状では、８ページ版も４ページ版も概要版という名称であり、わかりづらいので、４ページ版の名称について、ご意見があれば伺いたい。 (委員) どういうところに置く予定か。 (事務局) 概要版は、町役場や保健センターのちょっとしたスペースや窓口などに置けるのではないかと想定している。子どもが多い場所には、４ページ版かやさしい版を置きたい。役場には３種類置くなど、置く場所によって３種類を使い分けできればいいと考えている。 (会長) 置き場所についても、案があれば出していただきたい。 (委員) ３種類あるのは、対象者が違うということか。 (事務局) 「子ども」の中には青少年も入っている。８ページ版の５ページあたりは大人でも少し難しい言葉もあったりするので、中学生が見てもなかなか理解しづらい部分もあると思う。そのため、８ページ版は大人をターゲットに、４ページ版は中高生あたりをターゲットにと考える。やさしい版では中高生には優しすぎるのではないかと感じるので、そういった使い分けができると良いと思う。４ページ版は、大人が見てもわかりやすく、時間がない人はパッと見て大体こんな感じなんだ、と理解できるものという使い方も考えられると思う。
--	--	--

	(副会長)	4 ページ版は「3 分でわかる『瑞穂町子ども計画』」と名付けるのはどうか。
	(事務局)	瑞穂町にはじめて転入してきた方でも、表紙の「みずほまる」が分かるように、公式キャラクターということを記載したいと思う。
	(委員)	表紙の名称は「●●版」と揃えた方がいいと思う。簡単版、簡略版などでいいのではないか。
	(会長)	掲載内容は、概要版からやさしい版になるにつれ減っていくが、残した方がいいと思う項目などはないか。
	(委員)	8 ページ版の 6 ページで、「現状値は本編へ」となっているが計画書まで辿り着く人が果たしているのだろうか。可能であれば現状値は記載した方がいい。
	(事務局)	目標値の左側に現状値を記載することは調整可能である。一度で見てわかるようにしたいと思う。
	(会長)	資料 3 の自由意見をまとめるのは大変だったと思うが、逆に分類できない意見や、あるいは内容的に記載が難しいというものは特になかったか。
	(事務局)	個人を特定してしまうような内容は掲載しないよう削らせていただいている。同じような意見も多かったので、内容を調整させてもらいながらまとめさせていただいた。
	(委員)	学校でプールに入る回数の少なさに驚いた。町の水泳大会も暑すぎて中止になった。町営プールを建て替えることは簡単ではないと思うが、自由意見にプールの意見があるということは、子ども達も気になっているのかなと感じた。

	(会長)	プールの回数が減った、9月以降のプールがなくなった、という意見について、学校現場の立場から提供できる情報があればお願いしたい。
	(事務局)	一昔前、夏といえばプールだったが、昨今の気象条件が非常に急速に厳しくなっている。プールサイドも歩けない、上からも下からの照り返しも暑く体調を崩す恐れが高い。地球の気候変動に対応していかなければならないと思うが、なかなか難しい。
	(委員)	屋根を増設するなど何か改善していく方向なのか、尻すぼみになっていくのか保護者としては気になる。
	(委員)	個人的には、天候に左右されない羽村の屋内プールに行ってしまう。室内プールがあると一番いい。
	(事務局)	室内プールを作れたらいいと思うが、巨額のお金がかかるので難しい。新たな建物を造ることは、これだけ人口が減少した中で、税収も減り厳しい。既存施設を活用しつつできる打開策がでてくるといい。
	(委員)	外部委託でスポーツクラブと学校が連携するなどはどうだろうか。
	(事務局)	地方では学校の先生方の働き方の問題などもあり、学校でのクラブはやらずに地域のスポーツ団体に委託しているなどの話も聞いたことがある。
	(会長)	自由意見があることによって、我々も様々な議論が生まれ、そういった意味もあると感じた。
	(委員)	自由意見には驚くような内容も書かれていたりするので、要約前の内容を担当課に共有したほうがいいのではないかと思うものもあった。小中学生の

		意見に「税金の無駄遣い」という意見があるが、どのような記入だったのか。
	(事務局)	小中学生の意見では、端的にしか書いていない場合も多く、「無駄遣いをしない」「税金を少なくする」くらいしか書いてなかった。
	(会長)	では、議題（２）に移りたいと思う。
	(事務局)	（２）素案に対する意見募集状況及び意見の反映について ※説明を行う
	(会長)	明日で意見募集が終了。概要版での意見募集は行うのか。
	(事務局)	概要版を用いて新たな意見募集は行わない。次回計画策定時には、概要版と合わせた意見募集を検討していきたい。
	(委員)	素案の 65 ページに、５歳児健診の記載がある。今後の実施予定を伺いたい。
	(関連部署職員)	令和８年度からの開始に向け、令和７年度はその実施方法について研究して令和８年度の実施に繋げていく予定である。
	(会長)	議題は以上で終了。
	4 その他 (事務局)	１点目、第２期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について話をさせていただく。現在、各関連部署に第２期の瑞穂町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の管理表の作成を依頼している。関連部署でまとめた管理表を皆様に報告し審議していただくため、次回の第８回会議で報告をさせていただきたいと思う。管理表については、見づらい、他の部署の管理表を参考にしたらどうか、AからE

		の評価が分かりづらいなど様々な意見を伺ったと聞いている。事務局としては進捗管理を記入していく担当部署も簡単に作成できて、委員の皆様も一目でわかりやすい管理表が望ましいと考えている。他事例をいろいろ調べているとことであり、次回の会議で提示したいと考えているのでその際には意見をいただきたい。 2点目、今後のスケジュールについて、次回会議では「瑞穂町子ども計画（案）」を提示し、承認いただきたいと考えている。その後、3月議会と地域保健福祉審議会に報告する流れとなっている。 3点目、次回の会議日程について、2月25日火曜日18時30分から、2階会議室にて開催予定である。事務局からは以上。 （会長） この概要版にもPDCAサイクルがあるように点検、評価はとても大事なことです。よりわかりやすくできると良いと思う。 5 閉 会 （副会長） 本日はこれをもって瑞穂町子ども・子育て会議を終了する。
--	--	---